

「留学生30万人計画」 骨子

平成20年7月29日
 文部科学省
 外務省
 法務省
 厚生労働省
 経済産業省
 国土交通省

【 主 旨 】

日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界との間のヒト、モノ、カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。その際、高度人材受入れとも連携させながら、国・地域・分野などに留意しつつ、優秀な留学生を戦略的に獲得していく。また、引き続き、アジアをはじめとした諸外国に対する知的国際貢献等を果たすことにも努めていく。

このため、我が国への留学についての関心を呼び起こす動機づけから、入試・入学・入国の入り口から大学等や社会での受入れ、就職など卒業・修了後の進路に至るまで、体系的に以下の方策を実施し、関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進する。

【 方 策 】

1. 日本留学への誘い

～日本留学の動機づけとワンストップサービスの展開～

我が国の文化の発信や日本語教育の拡大により、日本ファンを増やして我が国及び大学等への関心を呼び起こし、留学希望に結びつける。また、ウェブなどを通じ留学希望者に対し各大学等の情報を発信する。海外においては、在外公館や独立行政法人の海外事務所、大学等の海外拠点が連携して日本留学に係る各種情報提供、相談サービスを実施し、留学希望者のためのワンストップサービスの展開を目指す。

積極的に日本の文化、社会、高等教育に関し情報発信し、イメージ戦略としての日本のナショナル・ブランドを確立。

海外の大学等と連携して効率的に日本語教育拠点を増加させることにより、海外における日本語教育を積極的に推進。

各大学等の留学情報発信や、日本留学フェア等多様な方法による留学情報の提供の取組を推進。

在外公館、独立行政法人の海外事務所、大学等の海外拠点が連携して、海外において、日本留学に係る各種情報を提供。また、留学希望者への相談サービスを提供する機能を強化し、留学希望者のためのワンストップ(一元的窓口)サービスの展開を目指す。

ビジット・ジャパン・キャンペーンとの連携による情報発信の強化。

2. 入試・入学・入国の入り口の改善 ～日本留学の円滑化～

必要な留学情報の入手から入学許可、宿舎などの決定まで母国で可能とする体制を整備する。また、入国が円滑にできるよう、留学生の質にも留意しつつ入国審査等を見直す。

ウェブ等を通じ、入試など留学に関わる大学等の情報発信機能の強化。

日本留学試験の改善や、日本語能力試験、TOEFL、IELTSなどの既存の試験を活用した渡日前入学許可を推進。また、宿舎や奨学金採用など安心して留学するための受入れまでの手続きの渡日前の決定を促進。

海外において留学生を積極的に獲得するための大学等の海外拠点の展開と、大学等同士の間での共同・連携の推進。

大学等の在籍管理の徹底と入国時や入国後の在留期間の更新申請等に係る審査の簡素化や審査期間の短縮。

3. 大学等のグローバル化の推進 ～魅力ある大学づくり～

留学生を引きつける魅力ある大学づくりとして、英語のみによって学位取得が可能となるなど大学等のグローバル化と大学等の受入れ体制の整備について支援を重点化して推進する。

国際化の拠点となる大学を30選定し重点的育成。

国際化拠点大学やCOEでは原則英語のみによる学位取得を可とするなど、英語のみによるコースを大幅に増加し、国際的な教育研究拠点づくりを推進。

交換留学、単位互換、ダブルディグリーなど国際的な大学間での共同・連携や短期留学、サマースクールなどの交流促進、学生の流動性向上、カリキュラムの質的保証などにより大学等の魅力を国際的に向上。

専門科目での外国人教員の採用を増やし、教育研究水準を向上。

留学生の受入れや日本人学生の海外留学の推進を図るため、大学等における9月入学を促進。

留学生受入れのための大学等の専門的な組織体制を強化し、組織的な受入れを充実。

国費留学生等の優先配置、財政支援の傾斜配分、競争的資金やGPによる支援などにより、グローバル化を積極的に進める大学等への支援を重点化。

4. 受入れ環境づくり

～安心して勉学に専念できる環境への取組～

宿舎確保の取組など留学生が安心して勉学に専念できる受入れ環境づくりを推進する。また、地域や企業等が一体となった交流支援を促進する。

大学等が各関係機関と連携し、短期留学を含め渡日後1年以内の留学生に宿舎を提供できるよう、大学の宿舎整備、民間宿舎確保の円滑化、公的宿舎の効率的活用等の多様な方策を推進。

国費外国人留学生制度、私費留学生学習奨励費については、その改善を図りつつ活用。地域・企業等のコンソーシアムによる交流を支援することや、関係者が一堂に会する場として、全国レベルの交流推進会議を創設。

留学生が留学後困らないよう、日本語教育機関・大学等の日本語教育担当部署をはじめとした国内の日本語教育の充実。

カウンセリングなど留学生や家族への生活支援の取組を促進。

5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進

～社会のグローバル化～

卒業生が日本社会に定着し活躍するために、大学等はもとより産学官が連携した就職支援や受入れ、在留期間の見直しなど社会全体での受入れを推進する。

大学等の専門的な組織の設置などを通じた留学生の就職支援の取組の強化。

インターンシップ、ジョブカードの活用、就職相談窓口拡充など産学官が連携した就職支援や起業支援の充実。

企業側の意識改革や受入れ体制の整備を促進。

就労可能な職種の明示等在留資格の明確化や取扱いの弾力化、就職活動のための在留期間の延長の検討。

帰国留学生の同窓会の組織化支援、活動支援など帰国後の元日本留学生のフォローアップの充実を図り、元日本留学生に日本の理解者・支援者として活躍してもらうための人的ネットワークの維持・強化。

「留学生30万人計画」骨子の概要

ポイント

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進。

1. 日本留学への誘い

～日本留学への動機づけとワンストップサービスの展開～

- 積極的留学情報発信
- 留学相談強化
- 海外での日本語教育の充実 など

母国であらゆる留学情報の入手を可能に!



2. 入試・入学・入国の入り口の改善

～日本留学の円滑化～

- 大学の情報発信強化
- 渡日前入学許可の推進
- 各種手続きの渡日前決定促進
- 大学の在籍管理徹底と入国審査等の簡素化 など

母国で入学手続きを可能に!

3. 大学等のグローバル化の推進

～魅力ある大学づくり～

- 国際化拠点大学(30)の重点的育成
- 英語のみによるコースの拡大
- ダブルディグリー、短期留学等の推進
- 大学等の専門的な組織体制の強化 など

国際色豊かなキャンパスに

4. 受入れ環境づくり

～安心して勉学に専念できる環境への取組み～

- 渡日1年以内は宿舍提供を可能に
- 国費留学生制度等の改善・活用
- 地域・企業等との交流支援・推進
- 国内の日本語教育の充実
- 留学生等への生活支援 など

宿舍 奨学金 交流支援 日本語 生活支援



5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進

～日本の社会のグローバル化～

- 産学官が連携した就職支援や起業支援
- 在留資格の明確化、在留期間の見直しの検討等
- 帰国後のフォローアップの充実 など

留学生の雇用の促進

就職

帰国

「留学生30万人計画」関係府省 平成21年度予算 主な事項

平成21年度予算 517.8億円

[H21補正予算 162.8億円]

(平成20年度予算 478.3億円)

海外における日本語教育普及、ビジット・ジャパン・アップグレード・プロジェクトの推進等、留学生受入れ拡大に伴う審査体制の充実・強化、地域住宅交付金制度の活用については、留学生30万人計画関係予算がそれぞれの事項の内数であるため、合計額等には含んでいない。

1 日本留学への誘い 20.0億円(19.0億円)

ワンストップサービスの展開等情報発信機能の強化

・日本留学ポータルサイトの整備 新規 0.3億円【文部科学省】

・海外拠点等における相談体制の充実 3.1億円(2.1億円)【文部科学省】

・ビジット・ジャパン・アップグレード・プロジェクトの推進等 【国土交通省】

33.3億円の内数(34.5億円の内数)

・留学生アドバイザーの配置による日本留学の各種相談 等 0.8億円(0.8億円)【外務省】

・青年国際交流事業(青年の船等) 15.8億円(16.1億円)【内閣府】

海外における日本語教育普及

・日本語教育事業の戦略的拡充(独立行政法人国際交流基金運営費交付金) 125.7億円の内数(128.9億円の内数)【外務省】

2 入試・入学・入国の入り口の改善 3.4億円(2.6億円)

留学生の受入れ拡大に伴う審査体制の充実・強化

26.3億円の内数(25.5億円の内数)【法務省】

日本留学試験の拡充 3.4億円(2.6億円)【文部科学省】

・実施都市16 17、専門科目の多言語化 等

3 大学等のグローバル化の推進 47.1億円(5.3億円)

[H21補正予算 14.5億円]

グローバル30拠点の形成 新規 40.8億円【文部科学省】

- ・英語による授業等の実施体制の構築
- ・留学生受入れに関する体制の整備
- ・戦略的な国際連携の推進 等

日本人学生の海外留学の推進 6.3億円(5.3億円)【文部科学省】

14.5億円 [H21補正予算]

4 受入れ環境づくり

404.1億円(414.7億円)

[H21補正予算 148.3億円]

留学生宿舍の確保

- ・大学等の留学生宿舍借り上げ支援等 12.7億円(15.1億円)【文部科学省】
- ・地域住宅交付金制度の活用 1,940億円の内数(1,930億円の内数)【国土交通省】
- ・あんしん賃貸支援事業の推進 1.7億円(2.4億円)【国土交通省】
- ・留学生宿舍の整備 53億円 [H21補正予算]【文部科学省】

外国人留学生奨学金制度等の充実

- ・国費外国人留学生制度 【文部科学省】
11,974人 12,305人(331人増) 220.2億円(222.8億円)
- ・私費外国人留学生等学習奨励費 【文部科学省】
12,100人 12,470人(370人増) 78.9億円(80.8億円)
12,470人 78.9億円 [H21補正予算]
- ・留学生交流支援制度(短期受入れ分) 【文部科学省】
1,800人(前年同) 16.4億円(17.7億円)
1,800人 16.4億円 [H21補正予算]
- ・授業料減免学校法人援助 【文部科学省】
15,509人 14,734人(775人減) 31.4億円(33.0億円)
- ・人材育成研究支援無償(開発途上国の人材育成計画支援) 【外務省】
42.0億円(42.0億円)
- ・国連大学私費留學生育英資金貸与事業 0.8億円(0.9億円)【外務省】

5 卒業・修了後の社会の受入れの推進

43.2億円(36.7億円)

留学生の就職支援の充実

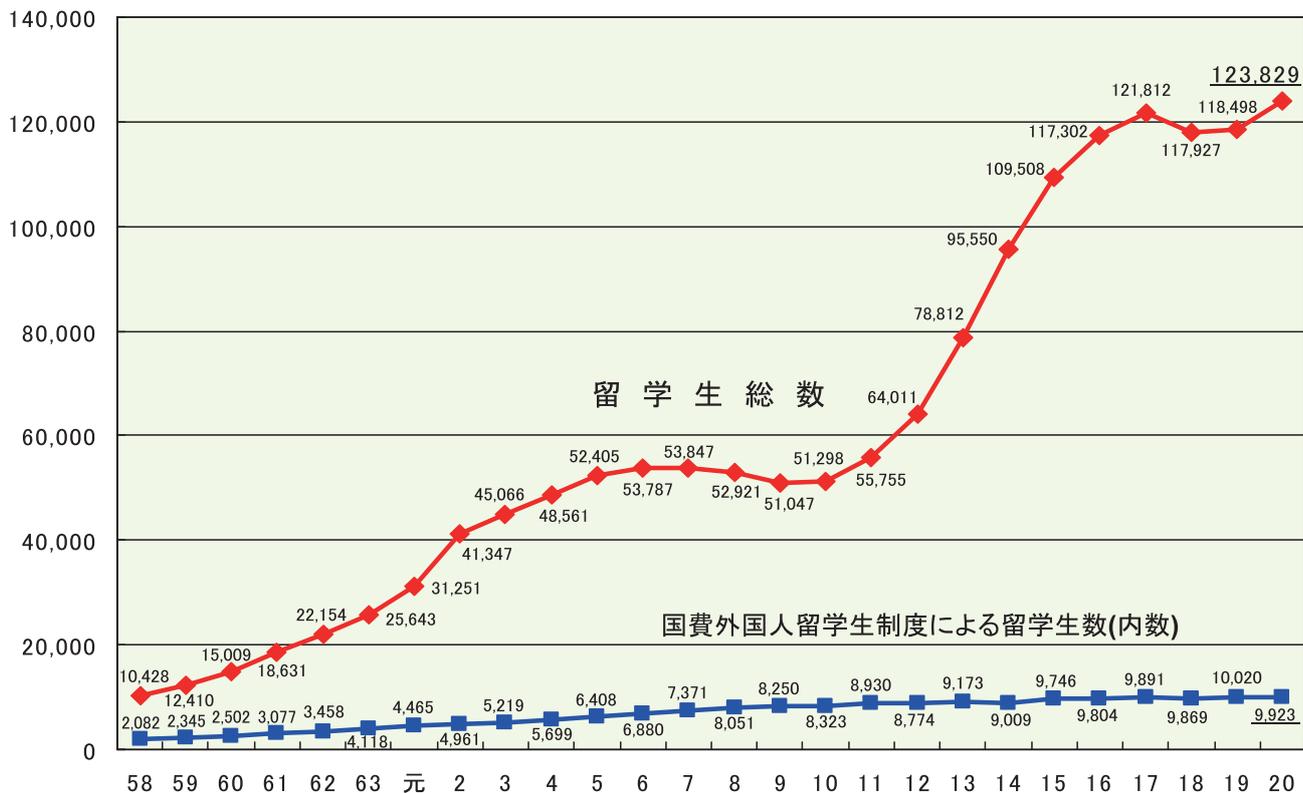
- ・アジア人財資金構想の推進
220.2億円の内数(222.8億円の内数)(再掲)【文部科学省】
34.0億円(32.6億円)【経済産業省】
(優秀な留学生へのビジネス日本語教育、日本ビジネス教育などを大学等の留学生就職支援プログラムの支援(国費外国人留学生の重点配置))
 - ・現地産業人材の裾野拡大支援 新規 1.6億円【経済産業省】
 - ・企業側の意識改革や受入れ体制整備の促進 新規 0.5億円【厚生労働省】
 - ・外国人雇用サービスセンターを中心に行う就職支援の強化
(留学生向けインターンシップの幅広い実施、留学生向け求人・求職総合サイトの立ち上げ等)
3.5億円(2.2億円)【厚生労働省】
 - ・留学生のための就職情報提供事業や大学等による就職支援等の充実 新規
0.4億円【文部科学省】
 - ・専修学校留学生総合支援プラン 新規 1.3億円【文部科学省】
- 帰国留学生への支援の充実
- ・帰国留学生会への支援の充実(全世界約160組織) 【外務省】
1.9億円(1.9億円)

(注) ()は、平成20年度予算額

留学生数の推移

■大学・専門学校等の在籍者数(各年5月1日現在)

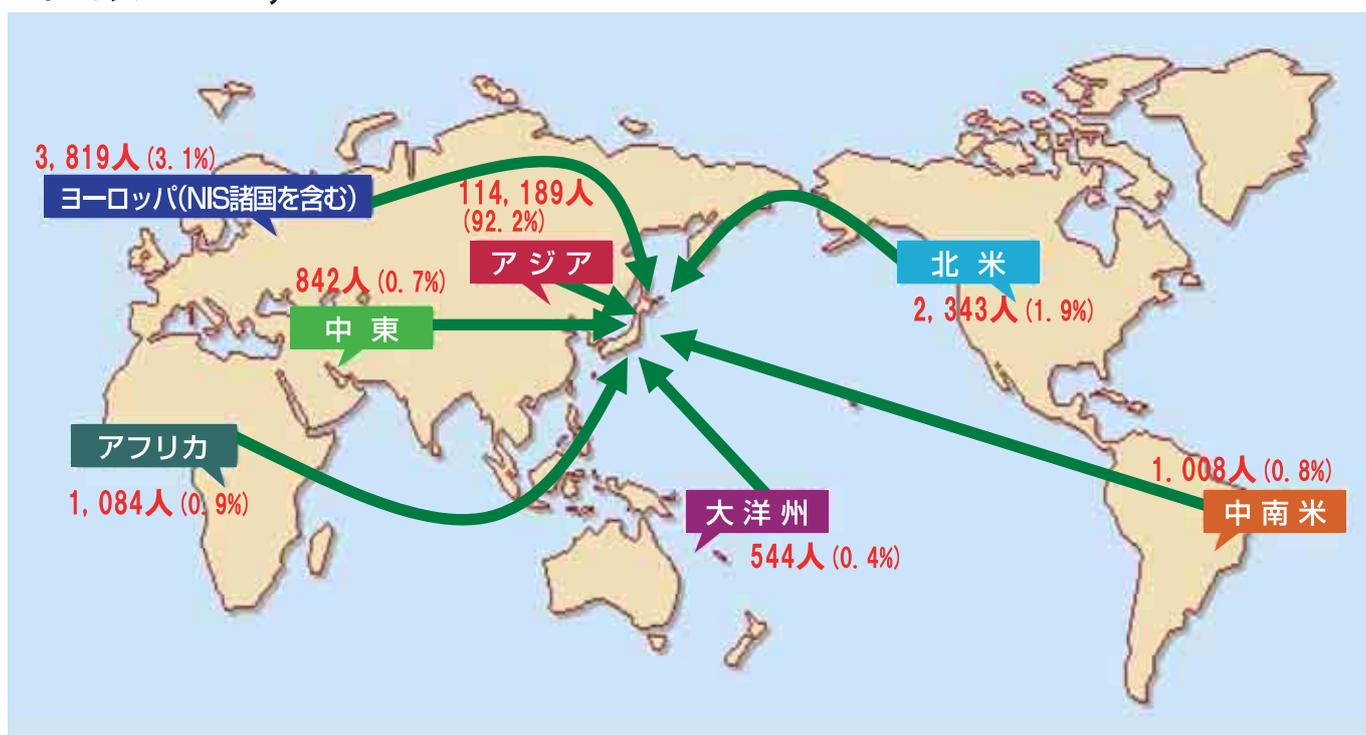
文部科学省及び日本学生支援機構調べ



出身地域別留学生数

総数 123,829人

平成20年5月1日現在



日本学生支援機構調べ

出身国・地域別留学生数

平成20年5月1日現在

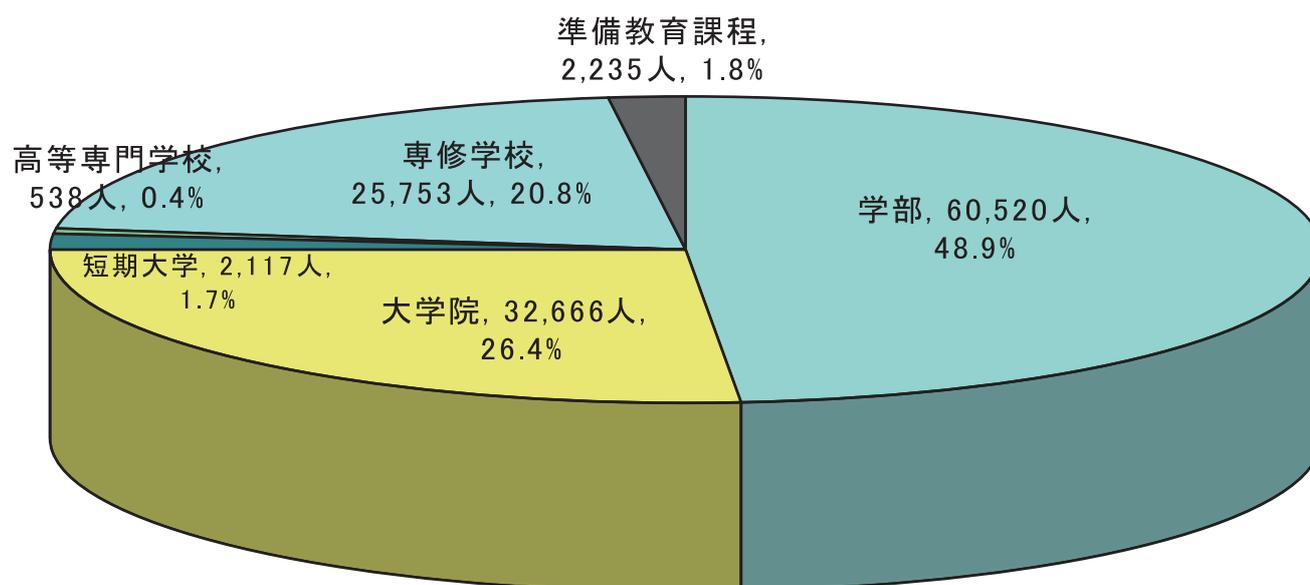
国・地域名	留学生数	国・地域名	留学生数
中国 	72,766	米国 	2,024
韓国 	18,862	インドネシア 	1,791
台湾	5,082	バングラデシュ 	1,686
ベトナム 	2,873	ネパール 	1,476
マレーシア 	2,271	その他	12,795
タイ 	2,203	合計	123,829

日本学生支援機構調べ

在学段階別留学生数

総数 123,829人

平成20年5月1日現在

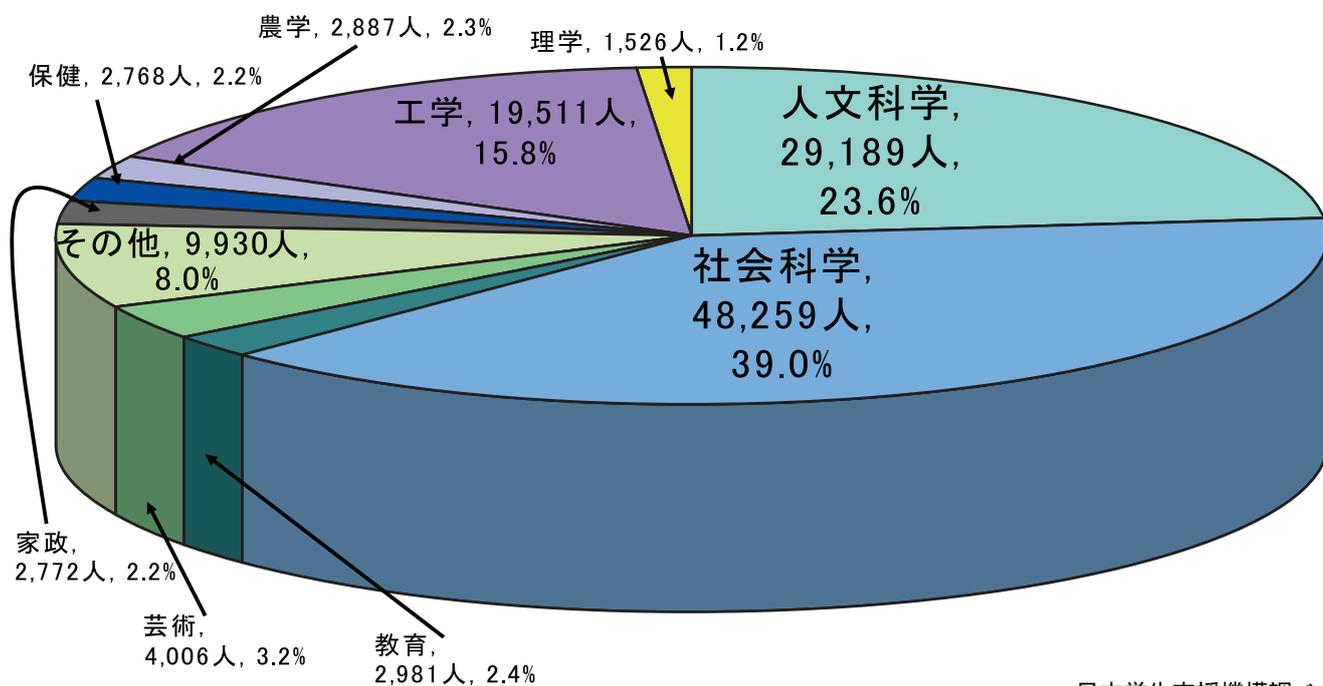


日本学生支援機構調べ

専攻分野別留学生数

総数 123,829人

平成20年5月1日現在



日本学生支援機構調べ

地方別・都道府県別留学生数

(平成20年5月1日現在、()内は平成19年5月1日現在)

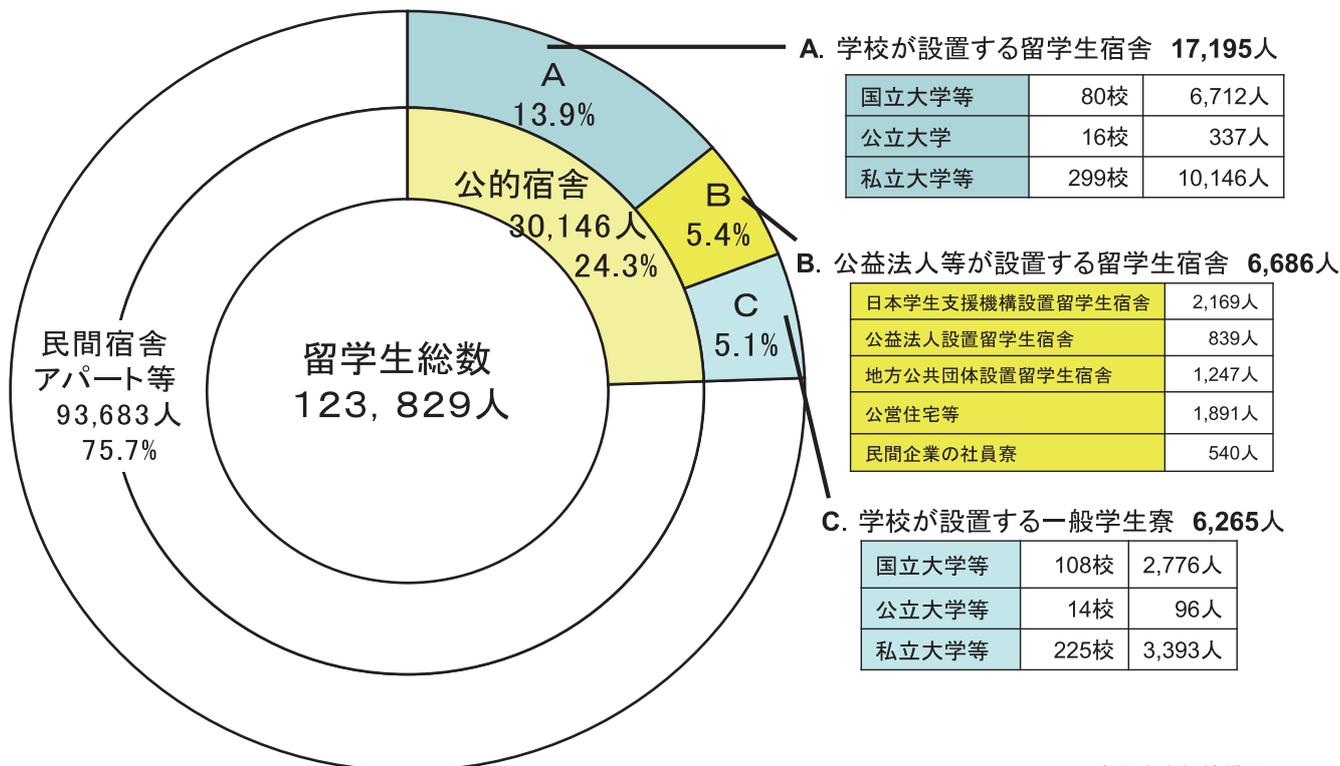
地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数	地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数				
北海道	1,900 (1,776)	1.5% (1.5)	北海道	1,900 (1,776)	近畿	21,848 (21,134)	17.6% (17.8)	三重	793 (767)				
								滋賀	371 (377)				
東北	3,481 (3,157)	2.8% (2.7)	青森	523 (326)	中国	5,302 (4,764)	4.3% (4.0)	京都	4,994 (4,746)				
			岩手	396 (401)				大阪	10,289 (10,203)				
			宮城	1,814 (1,767)				兵庫	4,017 (3,737)				
			秋田	227 (216)				奈良	1,102 (1,042)				
			山形	212 (211)				和歌山	282 (262)				
			福島	309 (236)				鳥取	186 (200)				
関東	61,949 (60,099)	50.0% (50.7)	茨城	2,320 (2,463)	四国	1,336 (1,319)	1.1% (1.1)	島根	213 (186)				
			栃木	1,071 (1,113)				岡山	1,982 (1,725)				
			群馬	1,172 (1,324)				広島	2,091 (1,930)				
			埼玉	5,444 (5,496)				山口	830 (723)				
			千葉	5,566 (5,708)				徳島	361 (341)				
			東京	42,371 (40,316)				香川	349 (333)				
			神奈川	4,005 (3,679)				愛媛	475 (465)				
								高知	151 (180)				
中部	13,778 (13,210)	11.1% (11.1)	新潟	1,197 (1,246)	九州	14,235 (13,039)	11.5% (11.0)	福岡	6,613 (6,017)				
			富山	585 (551)				佐賀	398 (400)				
			石川	1,421 (1,240)				長崎	1,418 (1,236)				
			福井	329 (320)				熊本	743 (715)				
			山梨	692 (710)				大分	3,965 (3,587)				
			長野	570 (613)				宮崎	122 (121)				
			岐阜	1,373 (1,360)				鹿児島	434 (440)				
			静岡	1,480 (1,396)				沖縄	542 (523)				
			愛知	6,131 (5,774)									
										計			
													123,829 (118,498)

日本学生支援機構調べ

留学生宿舍の状況

平成20年5月1日現在

○公的宿舍入居留学生数 30,146人(前年度比 2,953人増)



日本学生支援機構調べ

平成19年度に卒業(修了)した外国人留学生の進路状況

(上段:留学生数(人) / 下段:構成比(%))

	日本国内				出身国(地域)				日本・出身国(地域)以外				小計	不明	卒業(修了)留学生総数
	就職	進学	その他	計	就職	進学	その他	計	就職	進学	その他	計			
博士課程	747	77	309	1,133	707	7	350	1,064	65	6	14	85	2,282	285	2,567
	32.7	3.4	13.5	49.6	31.0	0.3	15.3	46.6	2.8	0.3	0.6	3.7	100.0		
修士課程	2,261	1,479	716	4,456	842	34	857	1,733	16	25	21	62	6,251	604	6,855
	36.2	23.7	11.5	71.3	13.5	0.5	13.7	27.7	0.3	0.4	0.3	1.0	100.0		
専門職学位課程	66	11	12	89	47	0	12	59	1	0	0	1	149	25	174
	44.3	7.4	8.1	59.7	31.5	0.0	8.1	39.6	0.7	0.0	0.0	0.7	100.0		
大学(学部)	4,503	3,023	1,258	8,784	642	17	1,674	2,333	21	48	29	98	11,215	844	12,059
	40.2	27.0	11.2	78.3	5.7	0.2	14.9	20.8	0.2	0.4	0.3	0.9	100.0		
短期大学	156	413	52	621	40	1	102	143	1	3	2	6	770	17	787
	20.3	53.6	6.8	80.6	5.2	0.1	13.2	18.6	0.1	0.4	0.3	0.8	100.0		
高等専門学校	2	145	2	149	0	1	2	3	0	1	0	1	153	1	154
	1.3	94.8	1.3	97.4	0.0	0.7	1.3	2.0	0.0	0.7	0.0	0.7	100.0		
専修学校(専門課程)	1,925	4,757	719	7,401	423	72	1,019	1,514	7	28	14	49	8,964	173	9,137
	21.5	53.1	8.0	82.6	4.7	0.8	11.4	16.9	0.1	0.3	0.2	0.5	100.0		
準備教育課程	24	1,589	22	1,635	56	51	159	266	0	0	0	0	1,901	0	1,901
	1.3	83.6	1.2	86.0	2.9	2.7	8.4	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
計	9,684	11,494	3,090	24,268	2,757	183	4,175	7,115	111	111	80	302	31,685	1,949	33,634
	30.6	36.3	9.8	76.6	8.7	0.6	13.2	22.5	0.4	0.4	0.3	1.0	100.0		

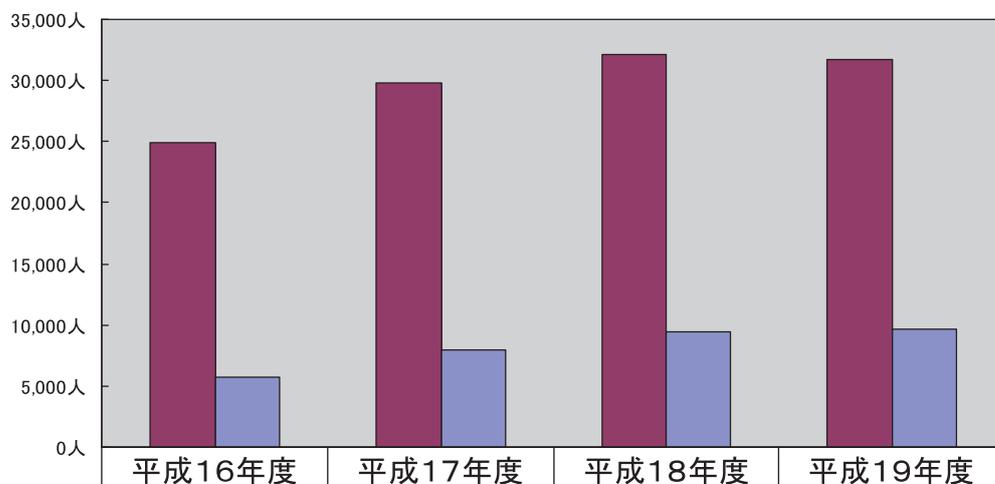
出典: 日本学生支援機構「外国人留学生進路等状況」平成19年版

卒業後の進路希望

区分	日本において進学希望	日本において就職希望	出身国において進学希望	出身国において就職希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職希望	まだ決めていない	不明
人数(人)	2,221	3,526	176	1,552	585	390	436	122
率(%)	38.6	61.3	3.1	27.0	10.2	6.8	7.6	2.1

出典: 日本学生支援機構「私費外国人留学生生活実態調査」平成19年版

留学生の日本国内における就職状況

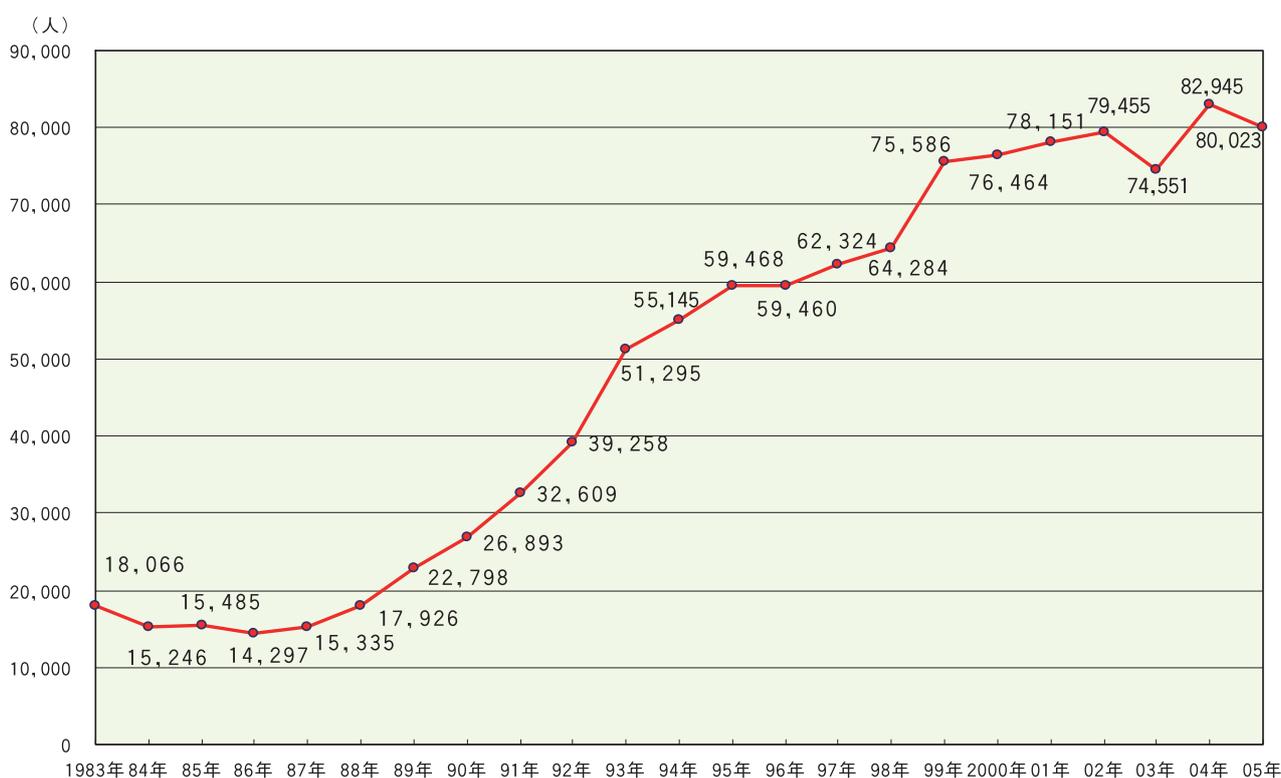


	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
■ 卒業(修了)留学生総数 (進路の不明者を除く)	24,961人	29,813人	32,099人	31,685人
■ 日本国内での就職者数	5,705人	7,911人	9,411人	9,684人
卒業(修了)生における日本国内での就職者の比率	22.9%	26.5%	29.3%	30.6%

※卒業(修了)生総数には、不明者を除く

日本学生支援機構調べ

日本人学生の海外留学者数の推移

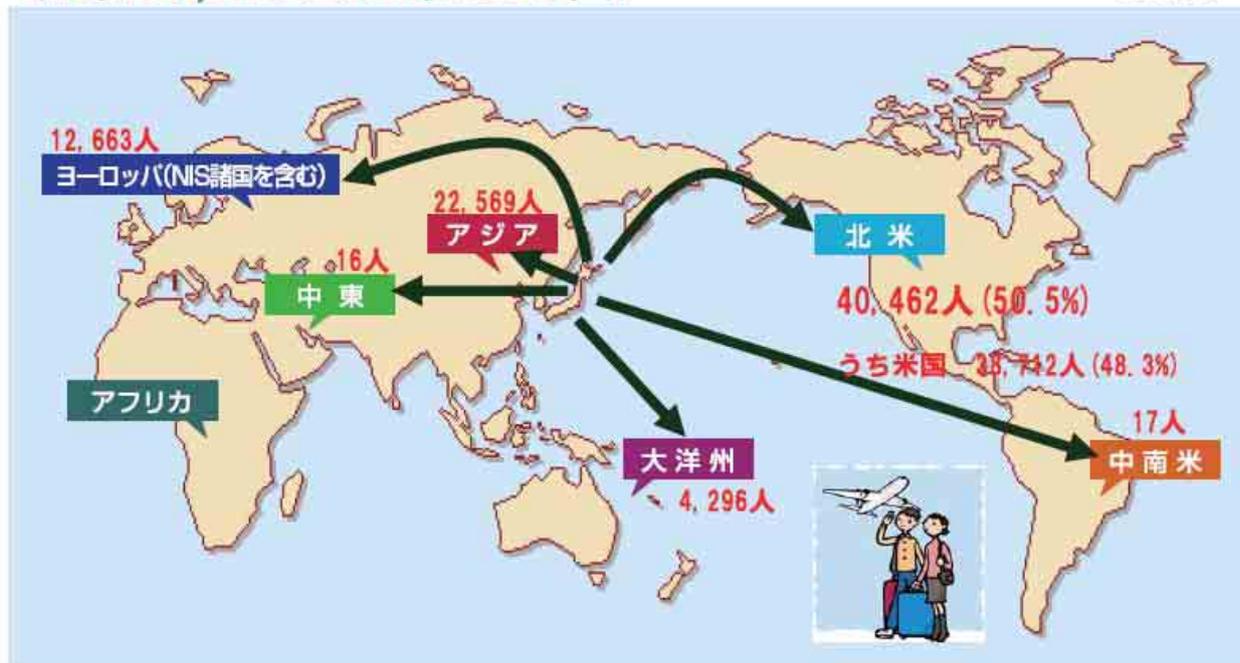


(出典: OECD「Education at a Glance」、IIE(米国)「OPEN DOORS」等)

派遣地域別海外留学者数

総数 80,023 人(主要30カ国)

2005年



IE「OPEN DOORS」、中国教育部、OECD「Education at a Glance」、台湾教育部 各2005年版による

主要国の留学生受入れの状況

	米国	英国	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本
高等教育機関在学者数(千人)	10,797 (17,487) <small>(含パートタイム学生)</small> (2005年)	1,513 (2006年)	1,979 (2006年)	2,217 (2006年)	1,029 (2006年)	3,516 (2008年)
留学生受入れ数(人)	623,805 (2007年)	389,330 (2007年)	246,369 (2007年)	260,596 (2007年)	294,060 (2007年)	123,829 (2008年)
国費外国人留学生数(人)	3,282 (2007年)	11,025 (2007年)	5,869 (2007年)	11,891 (2007年)	2,679 (2007年)	9,923 (2008年)
留学生(受入れ)数÷高等教育機関在学者数(%)	5.8	25.7	12.4	11.7	28.6	3.5

米国IE「OPEN DOORS」及び英国高等教育統計局、ドイツ連邦統計庁、ドイツ学術交流会、フランス教育省、フランス外務省、オーストラリア教育科学訓練省、文部科学省、日本学生支援機構それぞれの調査による

